

【共通】

資料3

| 問番号 | 質問, 意見 等 | 回 答 |
|--------------|---|--|
| 1 | どのように回答すればよいかわからない。 3. () には何を書けばよいのか。 P2には「() 内は具体的に」という表記がある。 「その他」あるいは「答えたくない」の選択肢ではいけないのか。 | 3 調査票とも統計上必要としないため、設問を削除します。 |
| あなた自身 のこと | アンケート冒頭「あなた自身のことについて」の問いは調査分析に必要なか。性別や世帯内容（市民調査用 問3）等、不要な聞き取りは避けた方が良いのでは。それとも意図があるのか。 | 3 調査票とも、問1（性別）は削除します。 また、市民調査用 問3（世帯構成）も削除します。 問2（世代）は障がい者の高齢化の状況や、世代による考えの違いを比較したいため残します。 |
| お住まいの 地域 | アンケート最後「お住まいの地域」は調査上必要なか。 また入れるのなら「あなた自身のことについて」の項に入れるべき。 | 統計上必要としないため削除します。 |
| 自由記述欄 | 「その他()」のスペースをもう少し大きくした方が、いろんな人の意見を聞き入れようとする姿勢が見えてよいのでは。 | 可能な限り大きくします。 |

【市民用】

| 問番号 | 質問, 意見 等 | 回 答 |
|--------|---|---|
| 4 | この問いの正解は何で、その後どのような取組を想定しているのか。 | 市民の障がいに対する関心度の推移を追跡するため必要。 |
| 5 | 「1.家族または親戚にいる世帯」の「世帯」は不要では。 | 不要であるため削除します。 |
| 6, 7 | 「手助け」の表現について、上から人を見るような感じを受ける。 | 「困っている障がい者（児）」と変更します。 |
| 8 | 各種障がい（知的, 精神, 自閉症, アスペルガー, 発達, 行動等）への理解度（よく知っている, 言葉は知っている, あまり知らない, 知らない）を聞き、どのように市民に周知していくかを考えていく方がよいのでは。 | 問10に用語を追加します。認知度により啓発に取り組みます。 |
| 9 | 施設コンフリクト（※）のことを知りたいのなら、個別で項目を起こすべき。 「隣近所に障がい者の生活支援施設が建設されるとしたら、あなたはごどう思いますか。 精神障がいの生活支援施設 1.何も問題ない 2.少し抵抗を感じる 3.抵抗を感じる 4.建設に反対する 知的障がいの生活支援施設 : ※社会福祉施設の新規計画等が、近隣住民の反対運動によって中断・停滞する「人権摩擦」のこと。 | 設問及び選択肢を変更する。 「もし、あなたの近所に障がい者の施設ができるとしたら、あなたはごどう思いますか。」 1. 何も問題ない 2. 少し抵抗を感じる 3. 抵抗を感じる 4. 建設に反対する 5. その他（ ） |
| 12 | 障がいを理由に差別を受けるのは本人だけでなく家族の場合もある。 『障がい者用調査』の問47から問50を障がいのある方の家族にも聞いてはどうか。 | 設問を「障がいのある人や家族が…」に修正します。 頁数の都合上、差別の経験の詳細等については問47の自由記述へ記入をお願いします。 また、設問をまちづくりの項へ移動します。 |
| 13, 14 | 問いが抽象的すぎる。必要ないと思う。 | 問13は前回との推移分析のため必要です。 問14は削除します。 |
| 14 | （回答方法）記載を検討ください。 | 設問を削除します。 |
| 15 | 回答が多い項目を市が重点的に取り組むのであれば必要かと思うが、意識調査でこのような項目はほとんど意味をなしていないと思う。 | 必要な障がい施策の設問と内容が重なるので削除します。 |

| 問番号 | 質問, 意見 等 | 回 答 |
|--------|--|--|
| 17~19 | これらの問いの狙いは何か。 市はボランティアを増やすことを目指しているのか。 この項目の結果に対する行政の取組が全く思い浮かばない。 | 支援やボランティアに参加する人を増やしていきたいと考えています。 |
| 18 | 理由が1つだけとは限らないので、（あてはまるものすべて）の方がよいのでは。 | （あてはまるものすべて）に修正します。 |
| 20, 21 | 問6, 7の指摘内容と同じ。 「手助け」の表現。障がい者は「支援の対象」という意識が抜けない。 | 問20で「障がいのある人が困っていたら…」の記述があるため、原案どおりとします。 |
| 24 | 「障がい者差別に関する取組を教育現場や社会現場で実施していく」という選択肢が必要では。 | 選択肢1が該当します。 |

【障がい者用】

| 問番号 | 質問, 意見 等 | 回 答 |
|--------|--|------------------------------------|
| 8, 17 | 回答の「両親」について、片親の場合もあるので「親」にできないか | 「親」に修正します。 |
| 11, 12 | 時間の一番長い昼間の過ごし方を問われているのか。 短時間勤務と通所（地活等）利用をされている方から、回答に迷うという意見あり。 | 問11に「1番長く過ごしているものを選んでください。」を追加します。 |
| P 6 | 「次の問18から問22は…」は「次の問18から問21は…」ではないか。 | 「次の問18から問21は…」に修正します。 |
| 20 | 14.その他（ ） 15.特にな この問だけ、その他が最後になっていない。 | 「14.特にな 15.その他（ ）」の順に修正します。 |
| 29 | 具体的な記載スペースは広い方が書きやすい。 | なるべく広くします。 |
| 37 | 「問39に進む」は不要。 | 問38は「利用していない人」のための設問のため必要 |
| 40 | 権利擁護事業の表記について、現状に即した表記を検討ください。 | 「日常生活自立支援事業」に修正します。 |
| 43 | 福祉避難所の項目について、災害時利用希望有無の聞き取りも検討ください。 | 設問として追加を検討します。 |
| 47 | 「⇒問51へ」は「⇒問50へ」ではないか。ご確認ください。 また、自由記述スペースも検討ください。 | 「⇒問50へ」に修正します。 |
| 48 | 14.その他（ ）は問49の項目に沿う内容になるかはわからないと思う。7～14でよいか検討ください。 | 入力終了時点で記入内容により市が判断します。 |

【障がい児用】

| 問番号 | 質問, 意見 等 | 回 答 |
|-------|--|---|
| 4 | 療育手帳等級区分表記について『障がい者調査用』との表記を合わせて検討ください。 | 障がい者調査用と合わせます。 |
| 11~13 | 通園・通学以外で外出というのは平日に通院や買い物、放課後デイサービスへ行くことをさすのか。それなら問13で「ほぼ毎日」という回答になるが、土日だけの外出なら「週に2~3回」という回答になる。どのように答えればよいか。 | ここの設問では、「通園・通学以外」「土日のみ」という条件はなく、すべてをひっくるめての外出頻度を尋ねているので、毎日外出しているのであれば、「ほぼ毎日」という回答になります。 |
| 19 | 『障がい者調査用』問33「14.相談する人がいない。」この項目についても検討ください。 | 「14.相談する人がいない。」を追加します。 |
| 27 | 福祉避難所の項目について、災害時利用希望有無の聞き取りも検討ください。 | 設問として追加を検討します。 |
| 31 | 『障がい者調査用』問29と同様、具体的な記載スペースは広い方が書きやすい。 | なるべく広くします。 |

【その他, 意見等】

| 問番号 | 質問, 意見 等 | 回 答 (修正後) |
|-----------------------------|--|------------------------------|
| 差別解消法 | 障害者差別解消法は健常者に向けられた法律なのに、市民調査では様々な項目の中に位置づけ、当事者には個別に聞くこと、しかも解説付きに疑問を持つ。それなら、市民向けの各種項目も解説を付けてしかりである。 | 市民調査に解説を追加します。 |
| 医療モデルから社会モデルへ | 社会モデル的視点からも、障がい者用調査の後半にある何が必要かという問いは市民にも聞くべき。前回調査との比較より、障がい当事者と市民の考え方の違いを明らかにし、医療モデルから社会モデルへと捉えられる取組が市民に向けて展開されることが大切では。 | 市民調査にユニバーサルデザインに関する設問を追加します。 |
| 市民用調査 10, 11 | 障がい福祉に関する言葉や難病が障がいに含まれるという設問は、市民の方の認知が具体的に計れ、アンケートを通して関心や理解のきっかけになればいいと思う。 | |
| 障がい者用 29,31,34, 39,42 | 就労(問29, 31)福祉サービス(問34, 39)災害時(問42)の選択肢が具体的で、意思表示しやすい。 | |
| 障がい者用 47 | 自由記述欄が設けられていたので個別の状況を回答しやすい。 | |
| 障がい者用 48 | 差別やいやな思いの経験を問う選択肢がわかりやすい表現で選びやすい。 | |
| | 公共交通の障がい者割引を利用した際に、交通機関職員の態度が良くなって不快な気持ちになったことがある。 | |
| | 病気や障がいについて、いろんな人に知ってもらう機会を増やしてほしい。知れば偏った見方も減ると思う。 | |
| | 福祉的就労の認知度を上げてほしい。一般企業で働いていないと自分の身分を明かしく生き辛い。一般企業で働きたくても働けない人もいることを知ってほしい。 | |
| | 家庭環境が変化したとき、一人で生活していけるか不安である。 | |
| | 障がい福祉への理解を広め、障がい者が障がいや福祉の利用に肩身の狭い思いをしなくてよい暮らしやすいまちになってほしい。 | |